

意見発表大会

5月12日(金)、士幌町総合研修センター(ふれあいホール)にて、令和5年度校内意見発表大会が開催されました。

今年度は外部審査員の方々をお招きすることができ、新型コロナウイルス前と同じ運営方法で開催することができました。代表生徒は大きなホールでの発表で、緊張していましたが、自分の意見を堂々と発表することができていました。また、今後の農業クラブ活動のやる気に繋がってほしいと思います。

各分類の最優秀賞を受賞したクラブ員は北海道連盟意見発表大会に出場します。全道大会出場を目指して、士幌高校生の活躍を期待しています!!

～校内大会結果～

【分野Ⅰ類】

最優秀賞「家畜の生命と人間のエゴ」3年1組 平山 優太

優秀賞「父の背中を追いかけて」3年1組 水上 奏

【分野Ⅱ類】

最優秀賞「家庭菜園から始まった有機JASへの道」2年1組 木村 龍之介

優秀賞「オートミールを使った低糖質商品開発」2年2組 西澤 亜美

優秀賞「私のただ漏れのどら焼き愛と目標を語ってみた」3年2組 田中 萌々

【分野Ⅲ類】

最優秀賞「『志』から芽生えた私の挑戦～人と地域を繋ぐ架け橋を目指して～」3年1組 木村 萌

優秀賞「農業のバリアフリー化～誰にでもできる農業の実現に向けて～」2年1組 千葉 啓司

優秀賞「地域の「いただきます」を残したい」2年1組 星久保 龍威



～士幌高校トピックス～

生徒の学校生活の様子を配信しています!! 随時更新中!!今すぐチェック!!

アグリビジネス科

Facebook



www.facebook.com/hkdshihoroib

フードシステム科

Facebook



www.facebook.com/shihoro.foodsystem

農業クラブ執行部

Facebook



www.facebook.com/shihoro.nouka/timeline

士幌高校

Instagram



www.instagram.com/cocorozashi_lab/



https://shihoro-highschool.com/ 検索

学校祭について

令和5年度士幌高等学校学校祭は、7月14日(金)から15日(土)の2日日程で実施することになりました。

実施内容は1日目9時30分より「クラスパフォーマンス」と「体育祭」、2日目は10時より「クラス模擬店」を予定しています。

1日目は、クラスパフォーマンス時に保護者のみの公開です。なお、2日目のクラス模擬店は一般公開となります。あわせて本校生産物・加工品の販売も予定しておりますので、多くの方のご来校をお待ちしております。

4年ぶりに開催しました花・野菜苗販売会へのご来場誠にありがとうございました。

新年度が始まり、予定していた学校活動や行事が、縮小などの対応なく予定通り行える喜びを感じています。生徒たちも昨年までと違う部分に驚きつつも、前向きに日々の学習活動を精一杯取り組んでいます。

今後も、久しぶりに出店や販売会を実施する学校祭など多くの行事が控えております。安全面を考慮しつつ、生徒が少しでも成長していけるよう活動に取り組んでいきますので、今後ともよろしくご協力致します。

編集後記

高原だより

士幌高等学校PTA

News from Shihoro High School PTA
vol.146



「硝子の先の清き青」撮影：會田小子(写真研究同好会)

令和5年度PTA会長を務めさせて頂くことになりました、鈴木徹也と申します。日頃よりPTA活動にご理解、ご協力頂きありがとうございます。今年度からコロナへの注意も薄れていき、学校行事やPTA活動も少しずつ戻っていく中で、右も左もわからない状況ですが精一杯PTAの代表として取り組んでいきたいと思っております。最後になりますが、今年度もPTA活動にご理解、ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



PTA役員より
ご挨拶
PTA会長
鈴木 徹也

専攻班紹介

士幌高校では、1年生は作物栽培や家畜飼育等、農業全般や食品製造に関する基本的な知識・技能を身に付けます。2年生からは、畑作専攻や農産物加工専攻など、9個の専攻班にそれぞれ所属し、自ら課題を見つけ、課題の解決に向けて調査・研究を行っています。
座学だけでなく、実学を重視した授業を展開しているのが士幌高校の特徴です。

乳加工専攻班



私達、乳加工専攻班では士幌高校の特産品である牛乳を用いて、新たな商品開発に取り組んでいます。鳥インフルエンザの影響で卵の入荷が難しくなっています。そこで現在は卵を使わない、商品開発に取り組んでいます。地域の食材を上手に活用し、新たに地域貢献できるよう頑張ります。

農産加工専攻班



私たち農産加工専攻班は昨年度、餡を挟まないどら焼きの皮だけの新商品「どらかわ」の販売を開始しました。今年度はどらかわと組み合わせて販売できる「塗るあんバター」の商品化に挑戦中。士幌町産の農産物の活用と普及を目指して頑張ります。

肉加工専攻班



私たち肉加工専攻班は、士幌町で駆除されているエゾシカを資源として活用できないかと考え、商品開発を行っています。一昨年カレーの開発を行い、商品化することができた経験を活かし、今年度は新たに鹿肉のしぐれ煮の商品開発を行っています。

地域資源専攻班



私達地域資源専攻班は、地域の資源や食材に目を向け、新たな付加価値を見だし、商品開発から販売までを手がける活動を行っています。今年度は規格外の農作物やシーベリーの残さの有効利用と特産品化を目標に新たに活動をスタートさせました。今後も士幌町の魅力を広く発信し、地域創生へ向けた取り組みを進めていきます。

畜産専攻班



アニマルウェルフェア認証を受けていることを班員一人一人が意識しながら、乳牛のために活動しています。乳牛の特性や乳質の向上など乳牛に関する知識はもちろん、たくさんの方に乳製品を食べていただけるように安心で安全な生乳生産を心がけています。今後もヨーグルト、アイスクリームなどの乳製品をどうぞよろしくお祈りします。

野菜専攻班



野菜専攻班は持続可能な農業の一環として、有機JAS認証を取得し、ニンニク、サツマイモ、山わさびなどを栽培し、十勝での新たな作付け品目の開発を行っています。また、GLOBALG.A.P.認証にも挑戦し、これらの認証を地域に普及する取組を行っています。

畑作専攻班



畑作専攻班は、ジャガイモ生産中枢の士幌町で、有機農業の普及を目標にしています。そのために、有機農業で、ジャガイモの収量と品質の向上に向けて、試験栽培を行っています。分析方法は、最新のドローンによる生育分析、土壌分析装置を活用して、リアルタイム分析により、科学的根拠のあるデータを積み上げていきます。

環境専攻班



私たち環境班は、2年生4名、3年生4名で活動しています。環境班は、農業と環境、文化の3つの調和を図った持続可能な地域作りを目指して活動しています。現在は、十勝地域の防風林について着目し、農作物への影響や昆虫の研究、風害状況調査などを行っています。

草花専攻班



私たち草花専攻班は草花の栽培と、その活用方法について研究を中心に活動しています。また、ガーデニングやフラワーアレンジの手法についても学び、その技術を生かして北海道農業高校生ガーデニング甲子園や、農業クラブのフラワーアレンジメント競技などにも参加しています。

